

令和元年度指定管理運営業務評価票

資料5-1

施設名称:大阪府立少年自然の家	指定管理者:少年自然の家共同事業体	令和元年度目標	指定期間:平成28年4月1日～平成38年3月31日	所管課:市町村教育室地域教育振興課
-----------------	-------------------	---------	---------------------------	-------------------

評価項目	評価基準(内容)		指定管理者自己評価		施設所管課の評価		評価委員の指摘・提言
			評価内容	評価	評価内容	評価	
				S~C		S~C	
(1)施設の設置目的及び管理運営方針	①社会教育施設としての設置目的及び管理運営方針に則り運営がなされているか						
	②法令遵守の取組み状況は適切か						
(2)平等な利用を図るための具体的手法・効果	①利用承認、事業の実施等において平等利用が確保できているか						
	②障がい者、高齢者、外国人等に対する案内等の配慮は適切か						
I 提案の履行状況に関する項目	①日帰り・宿泊合計の年間利用者数						
	令和元年度目標 合計105,400人 宿泊数58,600人、日帰り数46,800人	平成30年度目標 合計103,000人 宿泊数57,000人、日帰り数46,000人 平成30年度実績 合計94,290人 宿泊数51,044人、日帰り数43,246人					
	②施設・設備への投資が適切になされているか						
	バーベキューガーデンの整備と利用促進						
	③主催プログラムが適切に実施できているか						
	・実施回数 令和元年度目標5事業5回	平成30年度目標 5事業 5回 平成30年度実績 5事業 5回					
	・申込者人数 令和元年度目標239人以上	平成30年度目標 200人以上 平成30年度実績 260人					
	・内容(教育効果・参加者満足度・広報等)						
	④広報・情報発信の取組みが適切になされているか						
	⑤利用者サービス向上の取組みが適切になされており、効果をあげているか						
(4)施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	①維持管理の内容は効果的で適切か						
	②施設管理に関する経費の執行状況は適切か						
	③施設の規模・機能にみあった管理体制・危機管理体制が確保されているか						
(5)府施策との整合	・府・公益事業協力等						
	・行政の福祉化						
	・環境問題への取組み						
	・府民、NPOとの協働						

評価項目	評価基準(内容)	指定管理者自己評価		施設所管課の評価		評価委員の指摘・提言	
		評価内容	評価	評価内容	評価		
			S~C		S~C		
II さらなるサービスの向上に関する事項	(1)利用者満足度調査等	○利用者満足度調査を実施し、分析結果をフィードバックしているか					
	(2)自主事業	①施設の設置目的に応じた事業が適切に実施されているか					
		・実施数 令和元年度目標11事業	平成30年度目標 11事業 平成30年度実績 12事業				
		・参加者人数 令和元年度目標699人以上	平成30年度目標 参加者数632人以上 平成30年度実績 参加者数690人				
		・内容(教育効果・参加者満足度・広報等)					
		②その他の自主事業が提案のとおり実施されているか					
		・実施数 令和元年度目標9事業	平成30年度目標 8事業 平成30年度実績 8事業				
		・参加者人数 令和元年度目標1,558人以上	平成30年度目標 1,420人以上 平成30年度実績 1,666人				
		・内容(利用促進につながっているか、利用者満足度等)					
	(3)その他創意工夫	その他のサービス向上につながる取組み、創意工夫がされているか					
III 適正な能力管理及業務財の政基行盤を関すること項目ができる	(1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度	①収支計画の妥当性及び事業計画・管理体制計画との整合性は図られているか					
		②収支は計画どおり行われているか					
		③収入確保や管理コスト削減の取組みは実施されているか					
	(2)安定的な運営が可能となる人的能力	①管理運営業務全体として職員体制は適切か					
		②事業実施に必要な人員数の確保・配置従事者への管理監督体制・責任体制は適切か					
		③年間研修計画策定し、適切な研修体制の整備、職員の指導育成を行っているか					
	(3)安定的な運営が可能となる財政的基盤	①運営基盤として、事業者の経営状況は適正か					
		②運営状況として、事業者の財務状況は適正か					

○各評価項目についてS(優良)、A(良好)、B(ほぼ良好)、C(要改善)の4段階で評価をする。

○指定期間10年によるデメリットの抑止策

I (3)①年間利用者数

目標利用者数の【100%以上…S / 目標値の85%以上100%未満 …A / 70%以上85%未満 …B / 70%未満 …C】

ただし、6年目以降は、目標利用者数未満及び1～5年目の平均年間利用者数を下回った場合は「C(要改善)」とする。

I (4)施設管理・正当な理由なく、各年度の修繕費の実績(具体的な予定額含む)が提案による計画の90%を下回る場合は「C(要改善)」とする。

○評価項目に複数の評価基準があるものについては、各評価基準につき評価項目と同じSABCの4段階で評価したうえで、S(4点)、A(3点)、B(2点)、C(1点)として評価基準の平均値により評価項目の評価を、平均得点が【 4~3.5 …S / 3.4~2.5 …A / 2.4~1.5 …B / 1.4~1 …C 】として決定する。

○評価基準に目標値が設定されているものについて、目標値の達成度が【 100%以上 …S / 目標値の85%以上100%未満 …A / 70%以上85%未満 …B / 70%未満 …C】として評価を決定する。

○網掛けの項目は、定量評価を行う。